

今年度の日本版拡張の新規項目について

HL7の拡張
～ 実施情報など ～

2006年7月19日

IHE-J 技術検討委員会(WG2)

下 邨 雅 一
(富士通株式会社)

Contents

1. データの閲覧・利用性(経済産業省 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業より)

富士通(株) 下邨 雅一

2. HIS-RIS/RIS-PACS(JAHISデータ交換規約 Ver2.0より)

コニカミノルタエムジー(株) 窪田 寛之

3. RIS-HIS (JAHISデータ交換規約 Ver2.0より)

富士通(株) 北山 健児

データの閲覧・利用性

経済産業省 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業 (医療情報システムにおける相互運用性推進普及プロジェクト)

目的

従来のPush型メッセージに加えて、**Pull型メッセージ交換規約の適用ガイドライン**を策定する。

これにより、システムの世代間、または異なるベンダシステム間でのデータの互換性を確保し、双方が保持している情報の相互利用を実現する。

データの閲覧・利用性

対象テーマ

- ① 患者情報(基本情報)
- ② 検査結果情報(検体検査)

IHE-J の Technical Framework (Laboratory) との整合を図る。
HL7はVer2.5に準拠。
今後も、各種オーダ情報など、様々な情報を加えていく。

昨年度実証実験への参加会社 (11社)

IHE-J活動の一環として…

Technical Framework (National Extension) として記載予定

昨年度実証実験シナリオ

実施方法

1. 閲覧側アクタで条件を入力し、応答側アクタへ問合せを行う
2. 閲覧側アクタ/応答側アクタの送受信電文をログで確認
3. 閲覧側アクタで問合せ結果が正しく表示されていることを確認

テスト内容

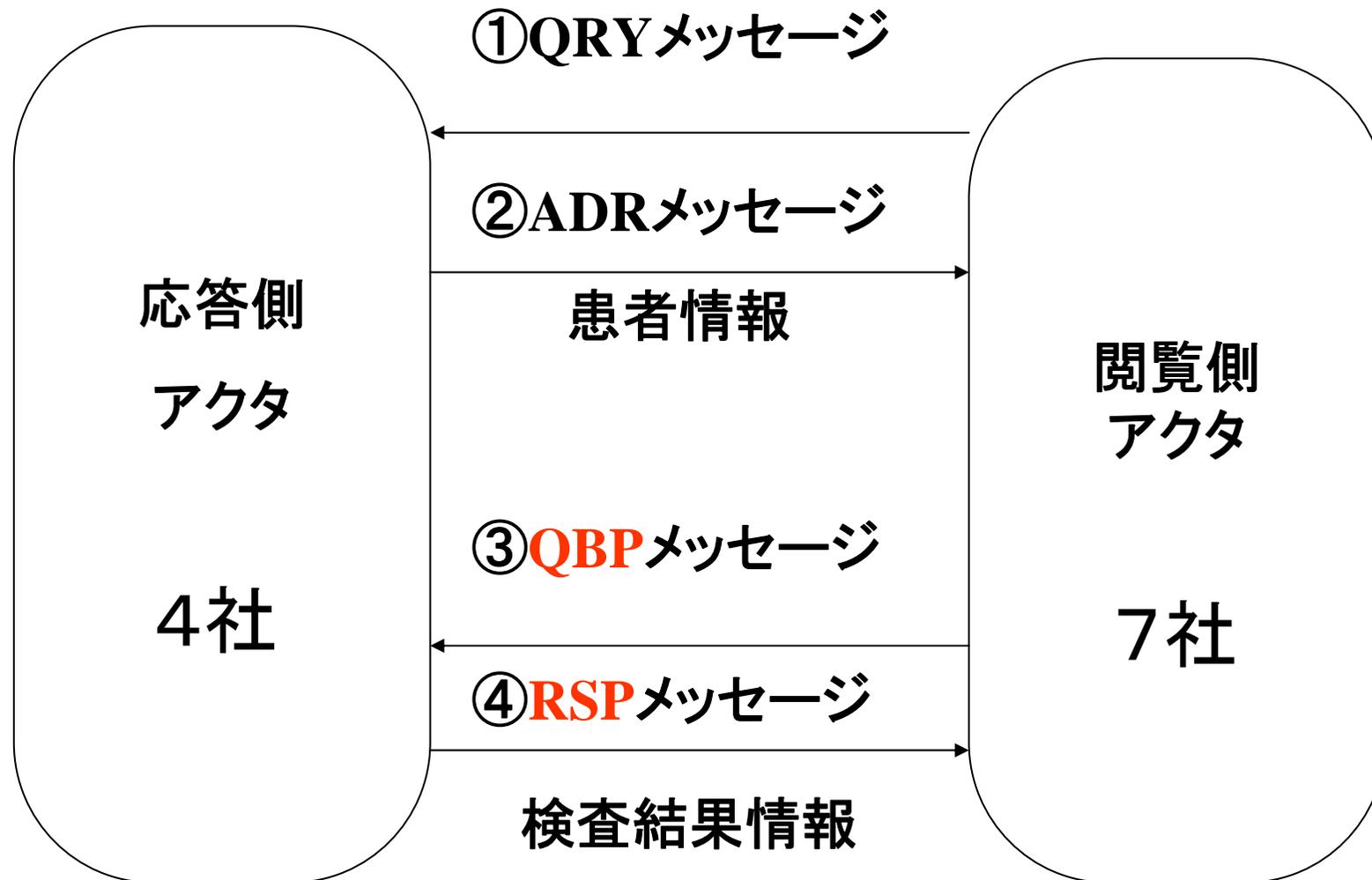
ユースケース1: 単一日、単一オーダ(単一結果)

ユースケース2: 日付範囲指定(複数日、複数結果)

ユースケース3: 単一日、複数オーダ(複数結果)

可能な限り、上記を各社の組み合わせ(総当り)で行う

昨年度実証実験イメージ



実証実験結果（画面例）

カルテ
 ファイル ユーティリティ ヘルプ
 ID: 000999923 横浜四郎 男 ヨコハマシロウ 1975(昭和50)年01月01日生 31歳 1ヶ月1日
 患者選択 医事 病歴 サマリ 最新 基本 オーダー・カルテ カルテ参照 検体 処方 テンプレート レポート テスト ケアマップ 看護 メモ 東部 東部-内科
 他事業所 全科 自科 中止含む

検体検査 処方・注射 テンプレート レポート 医師セット
 検査日 2006-02-02 以前 25 回分 検索 次 前 蛋白分画
 項目選択 表示から選択 コピー 時系列 時系列追加 グラフ

検査項目	M	結果	単位	コメント	再
2006-02-01					
WBC	H	90.0	10**2		
RBC	L	1	10**4		
Hb	L	2.0	g/dl		
MCV	L	4.0	fl		
MCH	L	5.0	pg		
MCHC	L	6.0	%		
トロポニンT	H	80.00	%		
TP	H	10.0	g/dl		
GOT		20	IU/l		
GPT		30	IU/l		
γ-GTP	H	40	IU/l		
CK		70	mg/dl		
CRP	H	60.00	mg/dl		
血糖 その他	L	50	mg/dl		
Hct	L	3.0	%		
PLT #	L	7	*10 4		

採取日 コピー 印刷

検査項目	M	結果	単位	コメント	再
基準値					

2006-02-02 11:53
 Start | [Icons] | 2006-02-02 11:53

実証実験結果（メッセージログ）

応答側ログ

```
MSH|^~\&|■■■KARTE||ORTDEMO||20060202115024||QRY^R02^RQY_R02|20060202115024PTDEMO|P|2.5|||||
~ISO IR87||ISO 2022-1994
QRD|20060202115024|R|I|0000000003|||1^RD|0009999923|RES|||T
QRF|FRG~WRD~LAB||||COL|||^^^20060201^20060201
MSH|^~\&|ORTDEMO||DIAKARTE||20060202115021||ORF^R04^ORF_R04|20060202115024PTDEMO|P|2.5|||||
~ISO IR87||ISO 2022-1994
MSA|AA|20060202115024PTDEMO
QRD|20060202115024|R|I|0000000003|||1^RD|0009999923|RES
QRF|FRG~WRD~LAB||||COL|||^^^20060201^20060201
PID|1||0009999923^^^^PI||横浜^四郎^^^^L^I~ヨコハマ^シロウ^^^^L^P||19750101|M|||東京都港区芝5丁目7-1
明生田町ビル^^^^1088420^JPN^H||03-3456-7731^PRN^PH
OBR|1|00000000009813||E002^生化学的検査^L||200602010000||1.75|||||200602010000|141&血清&L^^^^^&&&001
&普通採&L|19^NEC^医師^^^^^^L^^^^^I~^エヌイーシー^イシ^^^^^^L^^^^^P||000000201110002|||200602011130|||F
TQ1|||||200602010000||R
OBX|1|ST|3A010000002327101^T P^JC10||10.0|08^g/dl|6.7-8.3|H|||F|||200602011130
OBX|2|ST|3B035000002327201^G O T (A S T)^JC10||20|0E^IU/l|10-33||||F|||200602011130
OBX|3|ST|3B045000002327201^G P T (A L T)^JC10||30|0E^IU/l|5-45||||F|||200602011130
```

(注) 旧メッセージ

JAHISデータ交換規約 Ver2.0

概要

IHE-J の Technical Framework (National Extension)のベースになった「JAHIS放射線データ交換規約 Ver.1.1」を **HL7(Ver2.5) に完全準拠** させると共に、対象範囲として、従来のHIS-RIS間のメッセージの標準化に加え、**RIS-PACS/Report間のメッセージ**および、これまでスコープ外にしていた**実施情報(会計情報)のメッセージ**の標準化についても検討し、今後の普及を促進させるべく「放射線データ交換規約 Ver.2.0」を策定した。
(2006年度IHE-Jコネクタソンで採用予定)

～ 詳細は、JAHISホームページにて標準原案として公開 ～
意見招請中 : <http://www.jahis.jp/>

JAHISデータ交換規約 Ver2.0

